PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

62-058221

(43) Date of publication of application: 13.03.1987

(51)Int.Cl.

G02F 1/133

G09F 9/35

(21)Application number: 60-197567

(71)Applicant: RICOH CO LTD

(22)Date of filing:

09.09.1985

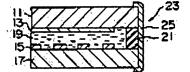
(72)Inventor: ENOMOTO TAKAMICHI

(54) LIQUID CRYSTAL DISPLAY DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To improve moisture resistance by coating a resin adhesive agent with a thin metallic oxide film to form a sealing part.

CONSTITUTION: The peripheral part is adhered and sealed by the resin adhesive agent 21 to form the sealing part 23. The outside thereof is coated with the thin metallic oxide film 25. The film 25 consists of SiO2, TiO2, ZrO2, TiO2.SiO2 or ZrO2.SiO2. Such thin metallic oxide film can be formed by coating a soln. prepd. by dissolving 1 or ≥2 kinds of org. metallic compds. in a solvent, for example, isopropyl alcohol by brushing, spraying or the like and drying the coating by heating. The sealing structure of the liquid crystal display device having high reliability is thus formed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62-58221

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

@公開 昭和62年(1987) 3月13日

G 02 F 1/133 G 09 F 9/35 3 2 1

8205-2H 6810-5C

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称

液晶表示装置

②特 願 昭60-197567

20出 願 昭60(1985)9月9日

個発明者 榎本 孝道

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

⑪出 願 人 株式会社リコー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号

19代 理 人 弁理士 臼村 文男

明和書

1. 発明の名称

被晶装示装置

- 2. 特許請求の範囲
 - 1. 対向基板間に被晶を抉持し、その周辺を樹脂接着剤にてシールしてシール部を形成した被晶表示装置において、前記シール部の樹脂接着剤の外側を、有機金属化合物から形成された金属酸化物の薄膜で被覆したことを特徴とする被晶表示装置。
- 3. 発明の詳細な説明

技術分野

本発明は被晶表示装置に関し、詳しくはそのシール構造の改良に関する。

従来の技術

被晶表示装置においては、透明電極を形成して基板が離間、対向して配設され、その間に被 晶が挟持され、その周辺がシールされてシール 部が形成されている。このシール部は、エポキ シ樹脂やシリコン樹脂などの樹脂接着剤を用い て接着することにより形成されている。 しかしながら、樹脂接着剤のみを用いたシール構造では、十分な防湿効果が得られず高温時の信頼性に問題があり、気泡の混入等による表示性能の 劣化がみられた。

発明の目的

本発明は、信頼性が高い液晶表示装置のシール構造を提供するものである。

発明の構成

本発明の被晶表示装置は、対向基板間に被晶を挟持し、その周辺を樹脂接着剤にてシールしてシール部を形成した被晶表示装置において、前記シール部の樹脂接着剤の外側を、有機金属化合物から形成された金属酸化物の薄膜で被覆したことを特徴とする。

以下、添付図面に沿って本発明をさらに詳細に説明する。

第1図は、本発明の被晶表示装置の実施例の シール部近傍を示す断面図である。透明電極13。 15が形成された上基板11と下基板17とが対向し て配設され、その間に被品19が封入されている。 この被品表示装置には、動作モード等に応じて、 必要により偏光板、反射板などが配設される。 周辺部は樹脂接着剤21により接着、シールされ てシール部23を形成しており、その外側は金属 酸化物脊膜25で被覆されている。金属酸化物薄 膜25は、SiO,, TiO,, ZrO,, TiO, SiO, ZrO, SiO, などからなる。こ のような金属酸化物脊膜は、有機金属化合物の 1種または2種以上を溶媒、たとえばイソプロ! ピルアルコールに溶解した液を、刷毛、スプレ ー、ディッピング法などにより強布し、加熱乾 燥することにより形成することができる。有機 金属化合物としては、加水分解などにより酸化 物に変換しうるものが用いられる。有機金属化 合物としては、有機チタン化合物、有機シリコ ン化合物、有機ジルコニウム化合物等があり、 これらの具体例としては、

Si(OCH(CH,),),, Ti(OC,H,),など のシリコン、チタンのテトラアルキルアルコラ

- 3 -

することができる。

発明の効果

本発明によれば、樹脂接着剤を金属酸化物薄膜で被覆してシール部を形成することにより、 耐湿性が改善され、被晶表示装置の信頼性が向 上する。

実験例

プラスチックを基板として用い、エポキシ樹脂で接着してシール部を形成した。この被晶セルのシール部にTi(OC。H。)。のイソプロピルアルコール溶液を刷毛で塗布し、100℃で処理して、エポキシ樹脂の外側に酸化物被膜を形成した。これに液晶を封入して被晶セルを作成した。

この被晶セルを、80℃-90%RHの環境下に放置したところ500時間のエージングでもセル内に気泡が発生しなかった。

一方、Ti(〇 C 。 H 。)。を 塗布せず、酸化物 被膜を形成しない被晶セルを、 同条件下でテストしたところ、セル内に 気泡が発生して表示不 ート、 Z r (C H, C O C H C O C H,)。などのジルコニウムのアルキルアセテート化合物などが挙げられる。これら有機金属化合物は、加熱処理で酸化物に変換しうるが、加湿またはアンモニウム雰囲気下で処理して加水分解を促進してもよい。 強布法により酸化物群膜を形成場合ことができるので、シール部が凹部にある過程で確実にシール部を被理することができる。

第2図は、本発明の他の実施例を示す。この 実施例では一方の基板(下基板)が他方の基板 (上基板)よりも突出しており、金属酸化物群 膜は、樹脂接着剤を被覆して下基板の上面まで 形成されている。

基板としては、ガラス、セラミック、プラスチックフィルムなどを用いることができる。特にプラスチックフィルムを基板として用いた場合には、第3回に示すように表示部にあたる部分も含めて基板全体に酸化物聹膜を形成することにより、被晶表示装置の信頼性をさらに向上

- 4 -

良を起こした。

4. 図面の簡単な説明

第1回および第2回は本発明の実施例を示す 一部断面図である。

11…上 基 板

13, 15…透明電極

17…下 基 板

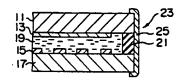
21…指 脂 接 着 剂。

∴ 23 … シール 部

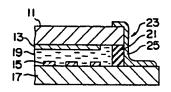
25…金属酸化物薄膜

特 許 出 順 人 株式会社リコー 代理人 弁理士 白 村 文

新I 図



第2図



角3四

